



SAFE COMMUNITY TOWADA



# 暴力・虐待予防対策部会

発表日  
発表者

令和5年11月16日（木）  
暴力・虐待予防対策部会  
部会長 関川 景子 1

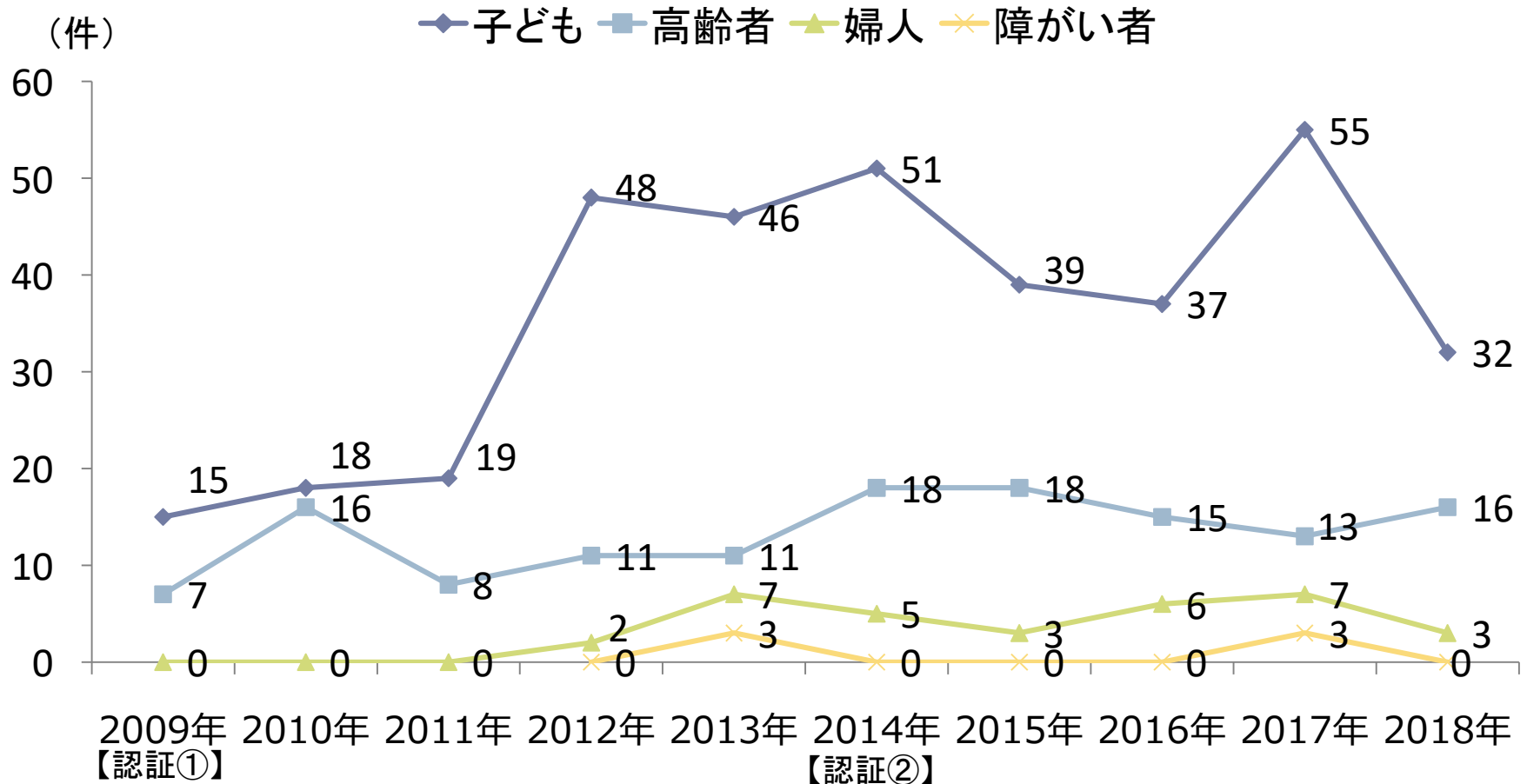
# 暴力・虐待予防対策部会名簿

区分		構成
市民団体等	1	特定非営利活動法人 スマイルラボ
	2	十和田地区人権擁護委員
関係機関等	3	十和田地区保育研究会
行政関係	4	十和田警察署 生活安全課
	5	十和田市教育委員会指導課
	6	十和田市生活福祉課
	7	十和田市高齢介護課
	8	十和田市子育て世代親子支援センター

# 暴力・虐待予防対策部会設置の背景①

## ■子どもに対する虐待の相談件数が多い

図表1 虐待相談件数

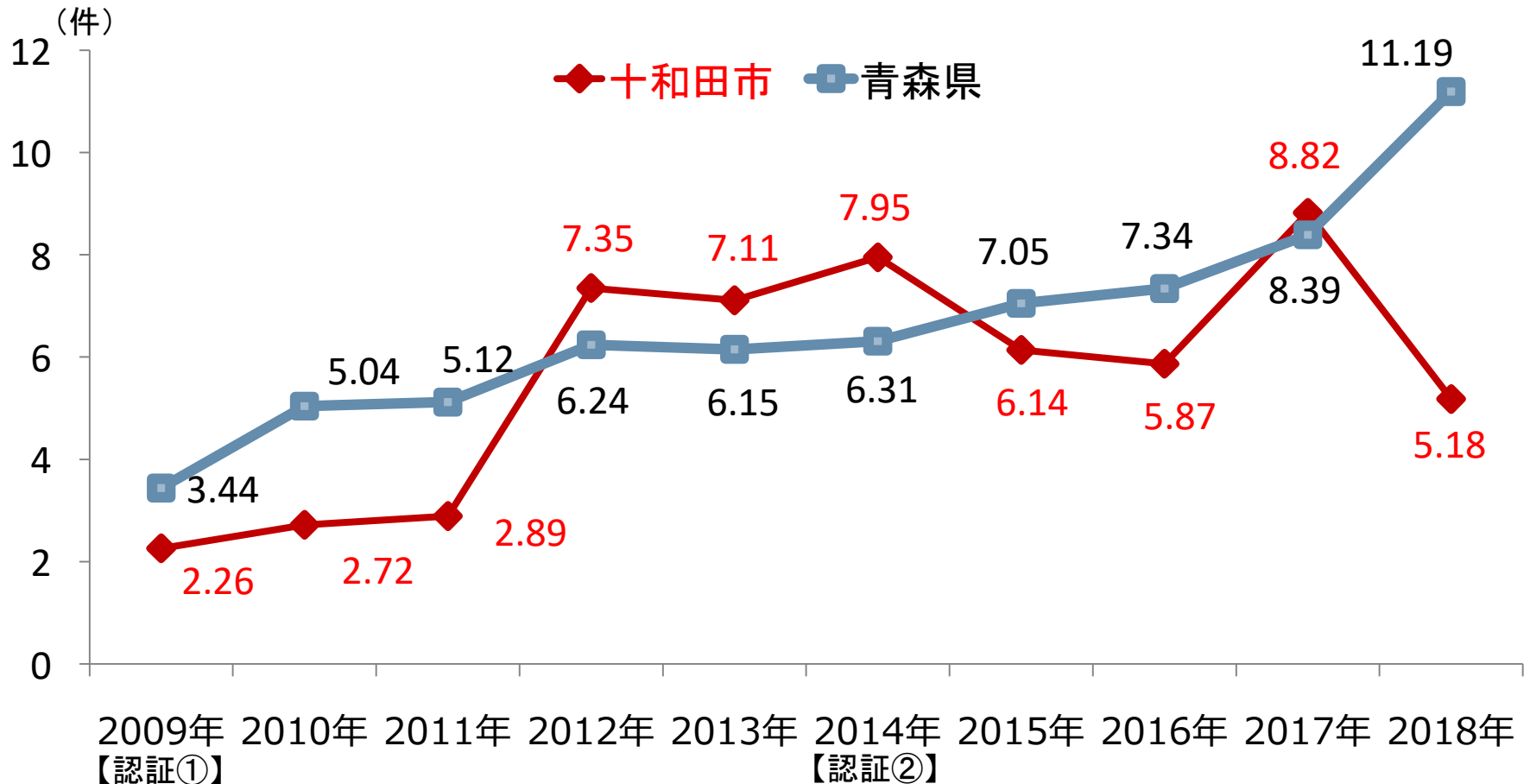


出典：子育て世代親子支援センター、高齢介護課、七戸児童相談所調べ

# 暴力・虐待予防対策部会設置の背景②

## ■子どもに対する虐待の相談件数が多い

図表2 児童虐待相談件数（人口1万人当たり）

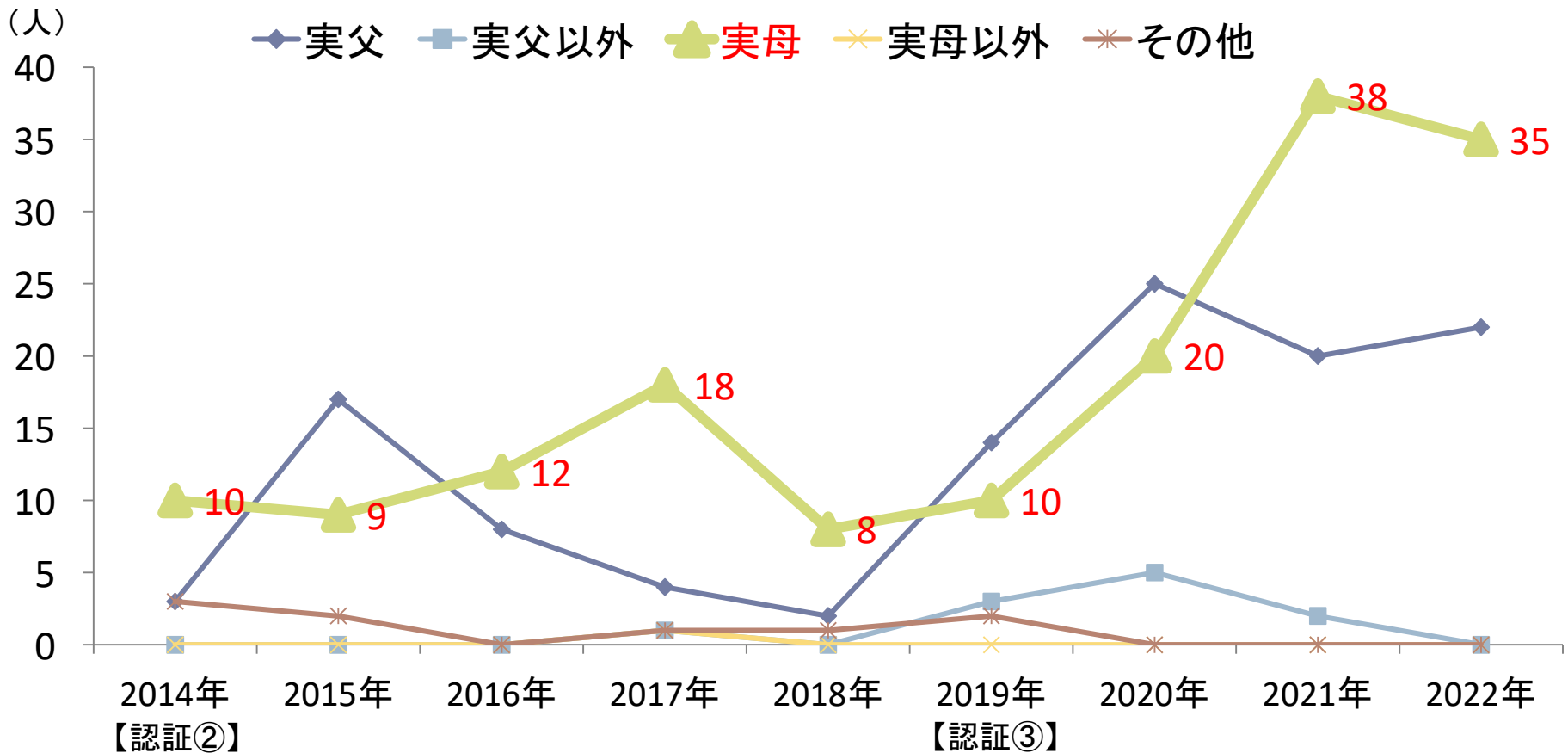


出典：厚生労働省、七戸児童相談所

# データから見る課題①

## ■子どもに対する虐待者は実母が多い

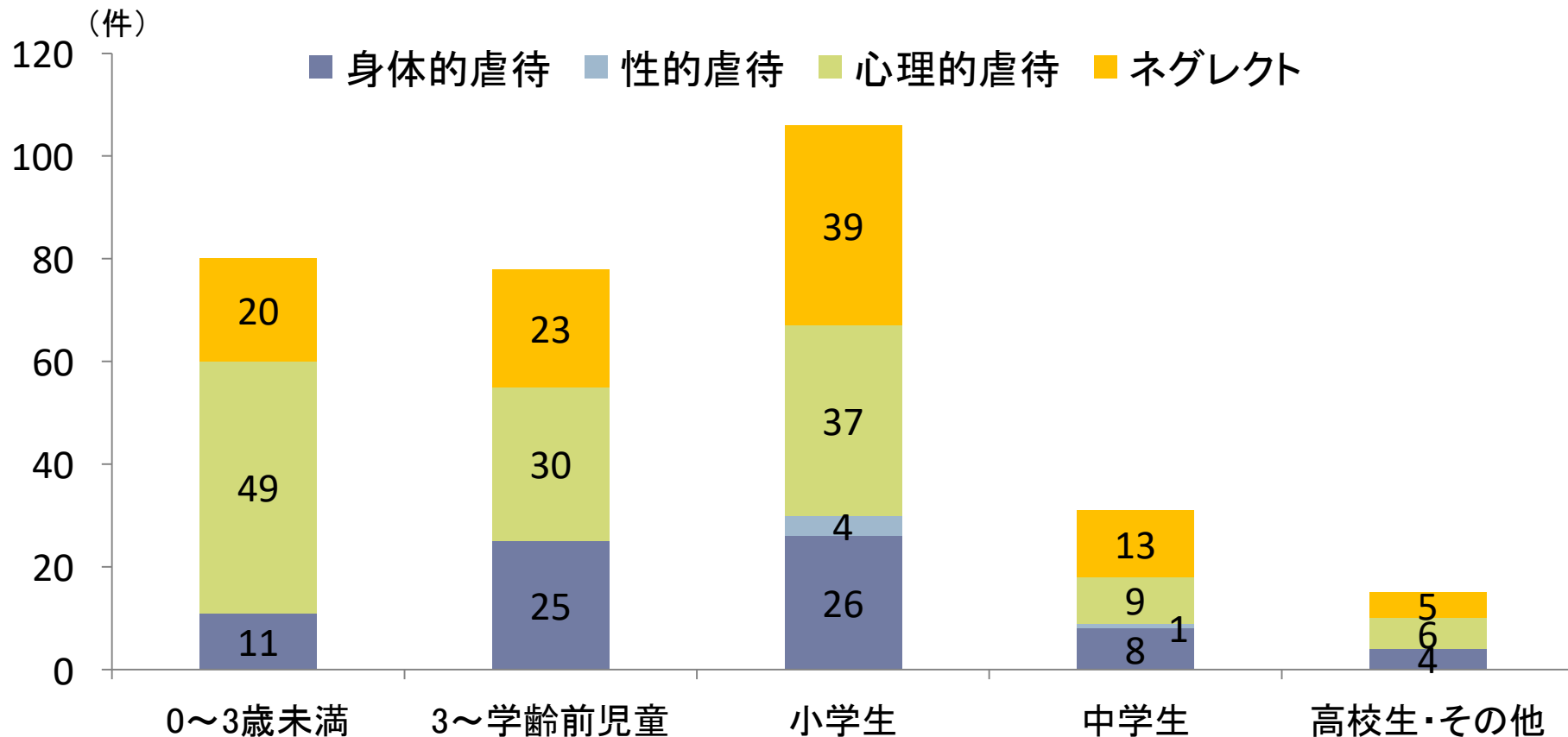
図表3 子どもに対する主な虐待者



# データから見る課題②

## ■子どもに対する虐待は心理的虐待が多い

図表4 子どもに対する虐待種別（2013年～2022年）

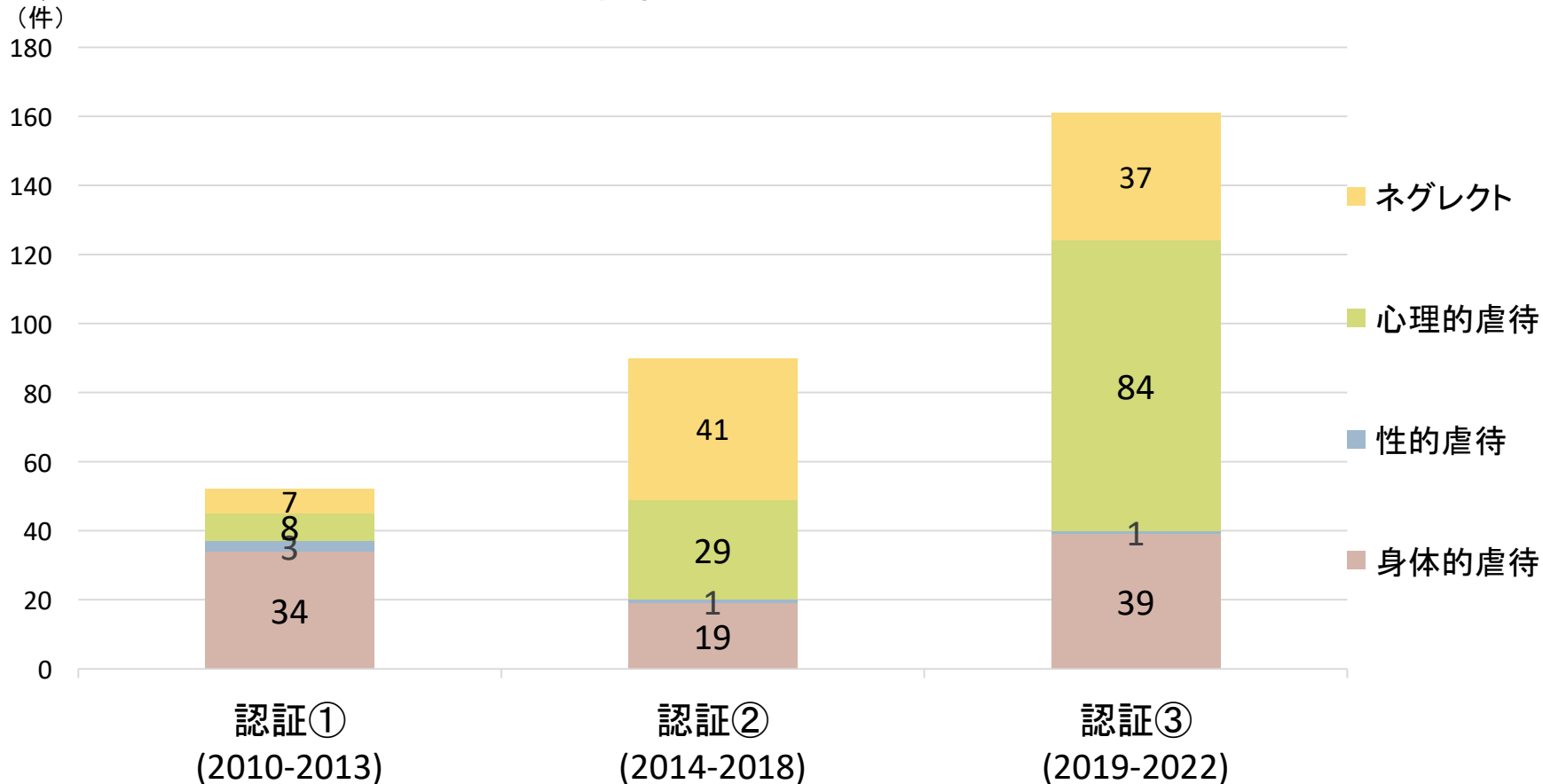


出典：子育て世代親子支援センター「十和田市要保護児童対策協議会会議資料」

# データから見る課題③

## ■子どもに対する虐待は増加している

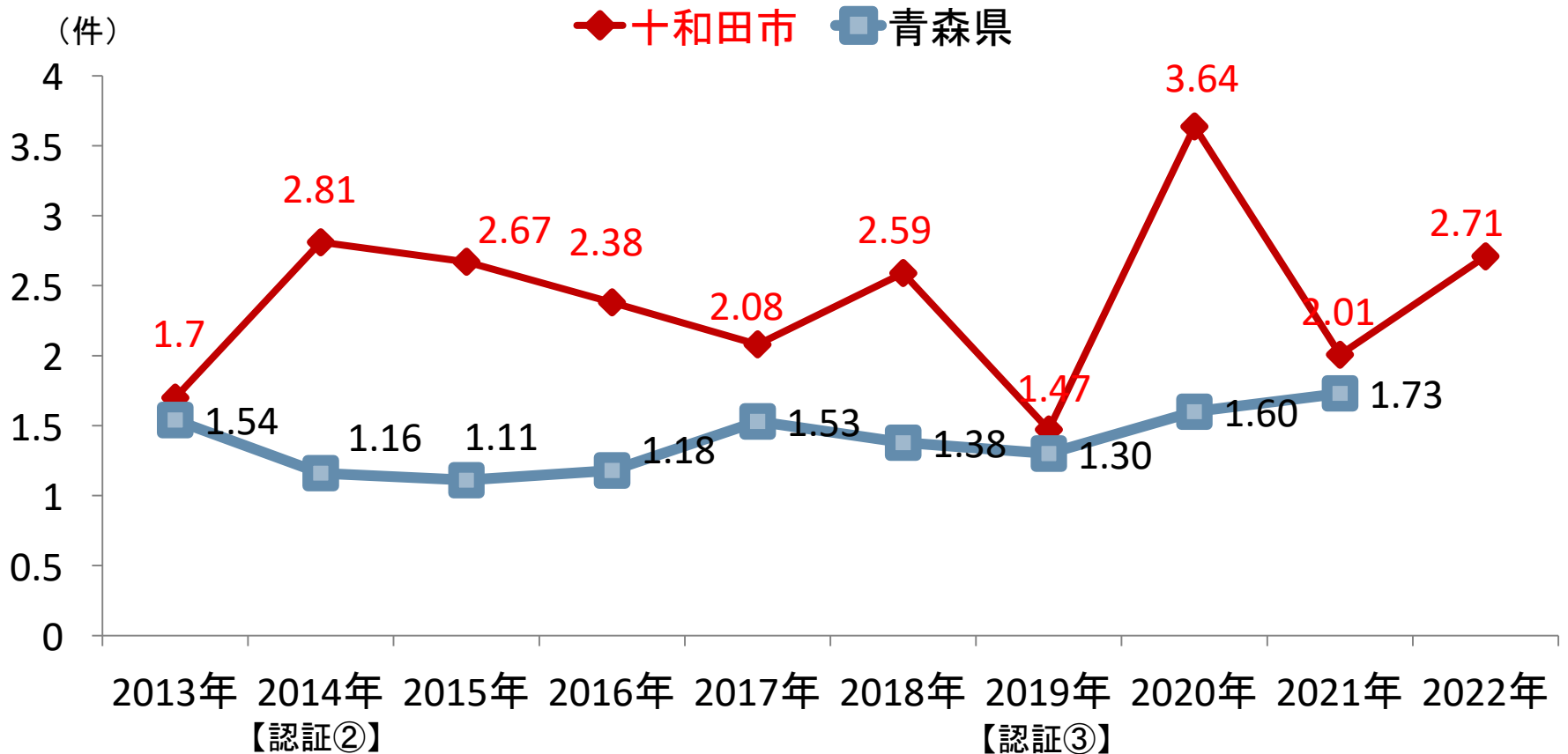
図表5 小学生以下に対する虐待種別



# データから見る課題④

## ■いずれの年も、県の数値を上回っている

図表6 高齢者の虐待通報による対応件数（人口1万人当たり）



出典：高齢介護課調べ

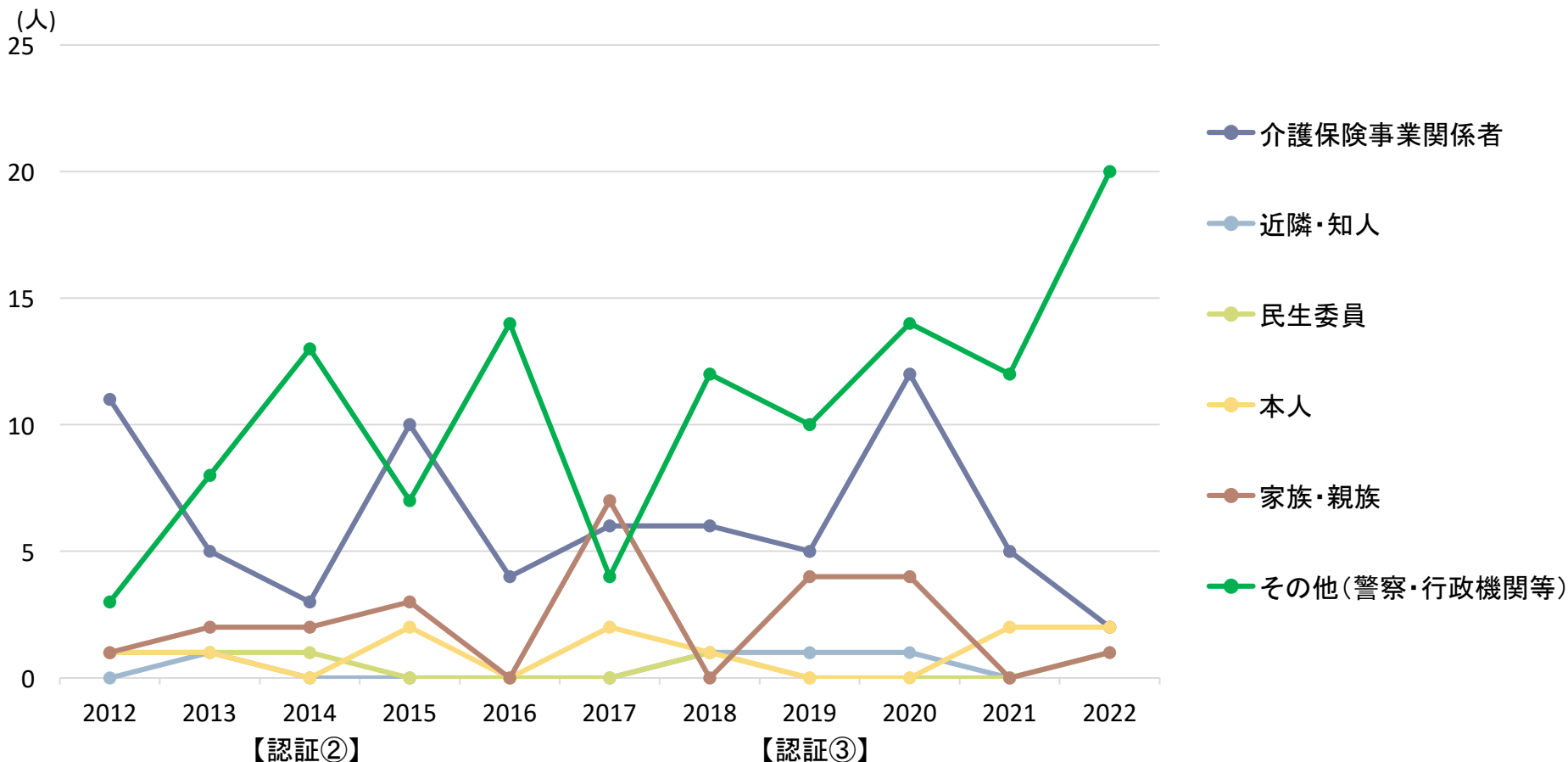
※虐待者に重複有



# データから見る課題⑤

## ■虐待の通報者は、行政や介護保険事業者が多い

図表7 高齢者の虐待通報者

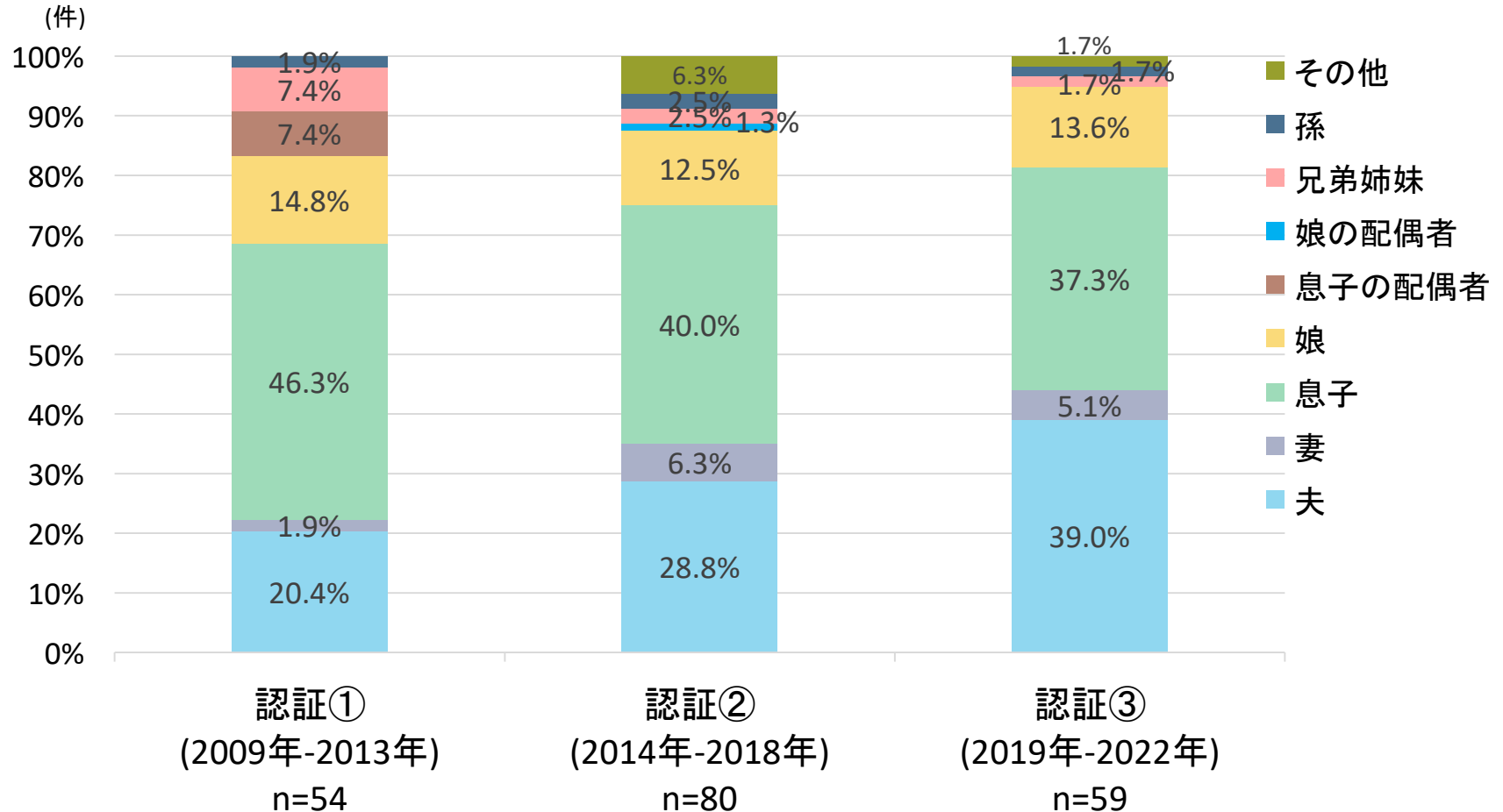


出典: 高齢介護課調べ

# データから見る課題⑥

## ■高齢者に対する虐待者は息子、夫が多い

図表 8 高齢者に対する主な虐待者

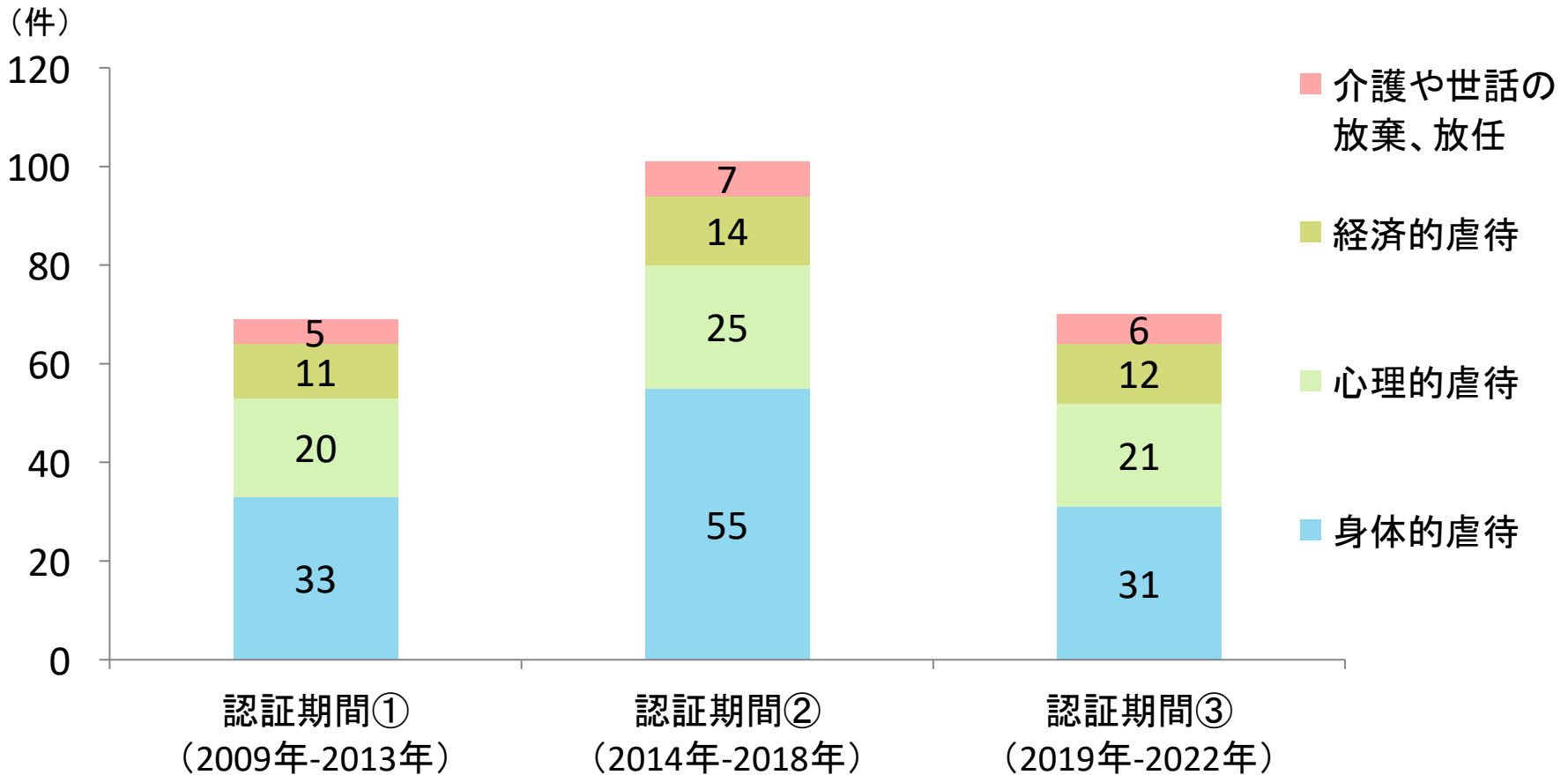


出典：高齢介護課調べ ※虐待者に重複有

# データから見る課題⑦

## ■高齢者に対する虐待は身体的虐待が多い

図表 9 高齢者に対する虐待種別

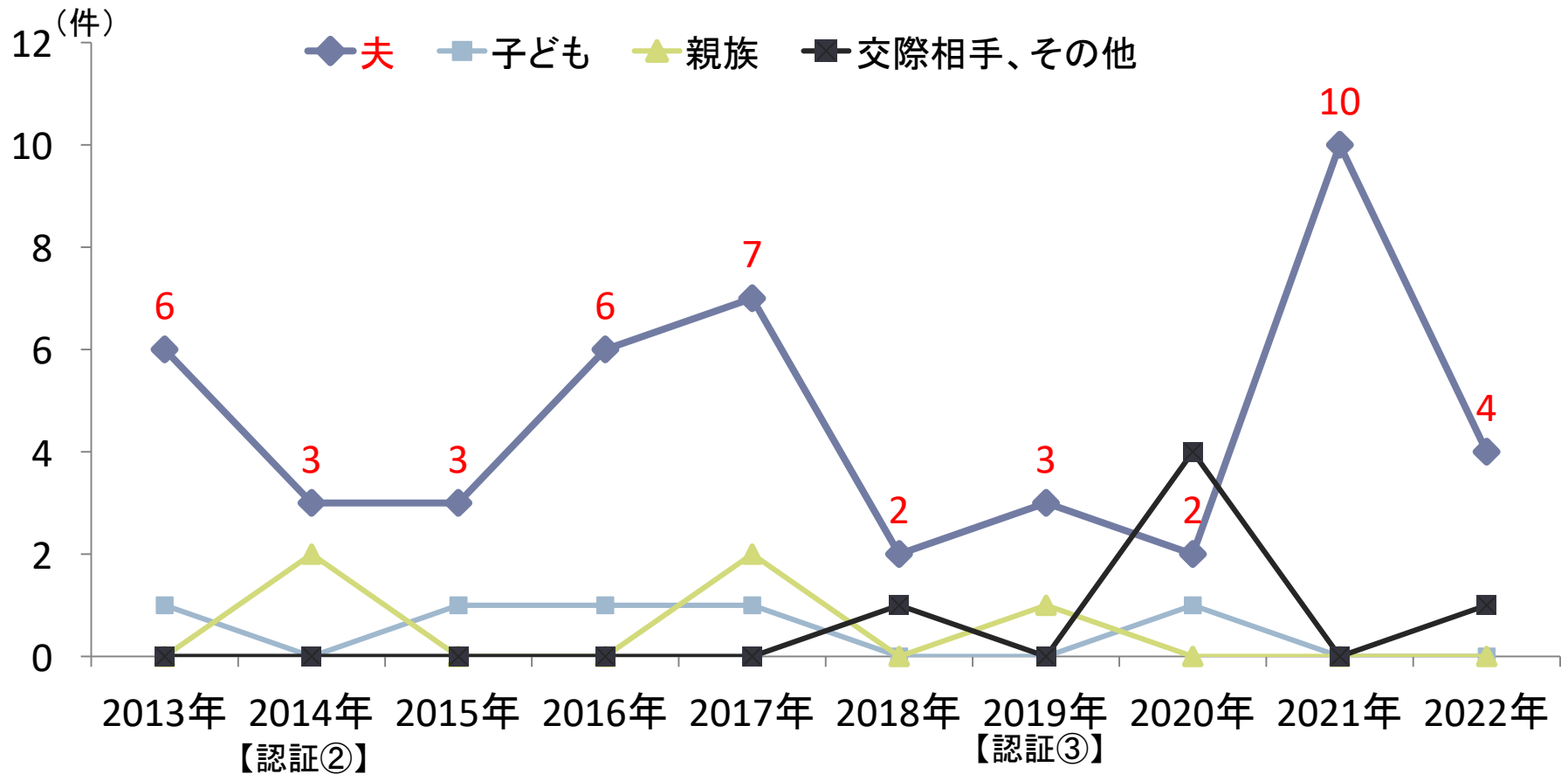


出典: 高齢介護課調べ ※虐待者に重複有

# データから見る課題⑧

## ■ 婦人相談では夫からの相談が多い

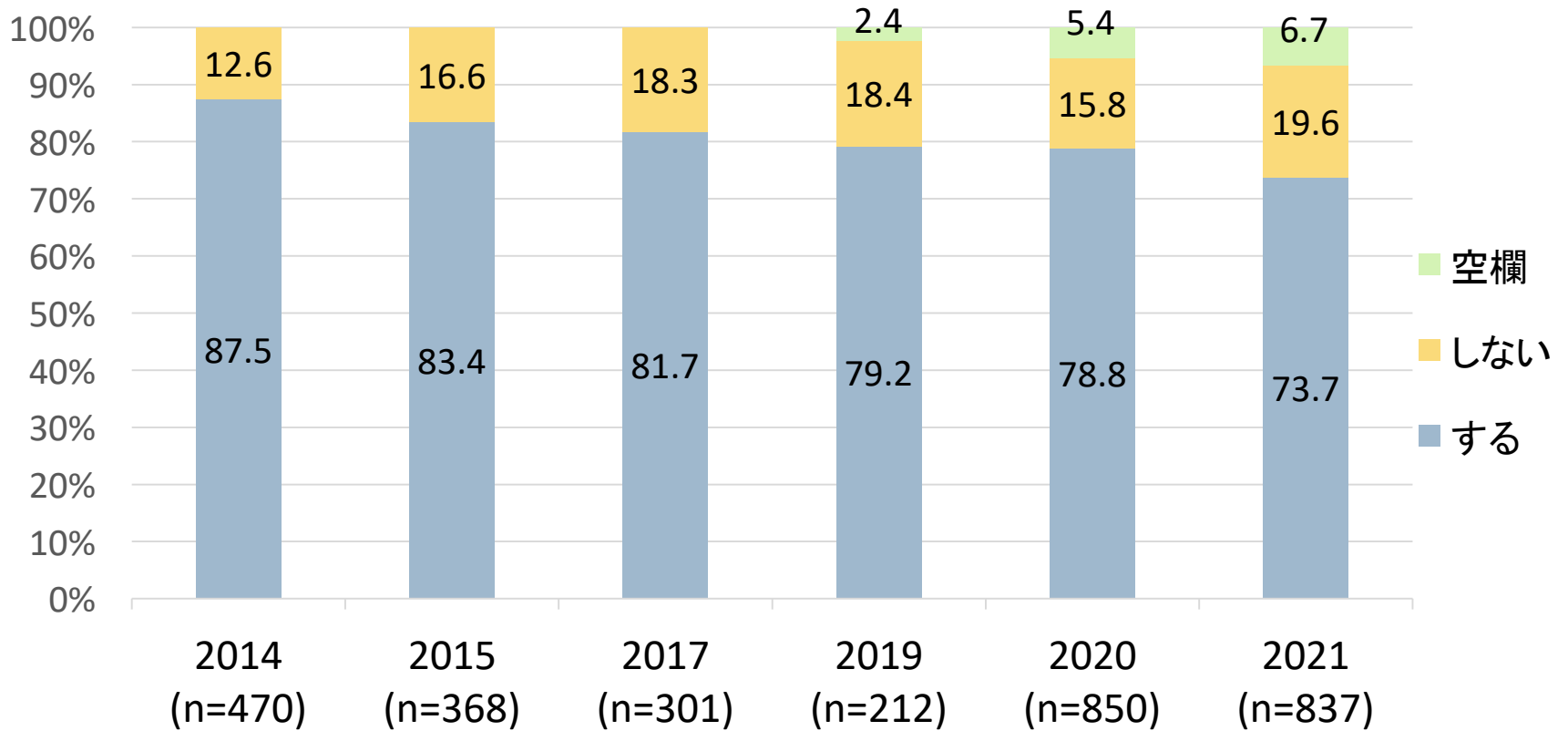
図表10 婦人相談における暴力に係る相談




# データから見る課題⑨

## ■通報しない人の割合が年々増加傾向にある

図表11 虐待を受けたと思われる乳幼児や高齢者を発見した場合、相談または通報する人の割合



# 課題の整理と部会の取り組み

課題	対策
<p>子どもや高齢者、女性に対する虐待が発生している。 図表3,6,10</p>	<p>暴力や虐待について理解を深めてもらうとともに、通報した人に対しての配慮があることを知ってもらう必要がある</p>
<p>虐待を受けたと思われる乳幼児や高齢者を発見した場合でも、相談・通報しない人が増えている 図表11</p>	<p></p> <p>オレンジリボン・パープルリボン 普及啓発プログラム</p> <p>・</p> <p>暴力・虐待の実態 普及啓発プログラム</p>

# 課題に対するレベル別の対策

課題	対策			
	方向性	国・県レベル	市レベル	地域レベル
<p>①子どもや高齢者、女性に対する虐待が発生している。</p> <p>②虐待を受けたと思われる乳幼児や高齢者を発見した場合でも、相談・通報しない人が多い</p>	啓発支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジリボン運動</li> <li>・パープルリボン運動</li> <li>・児童虐待防止推進月間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人相談員による相談支援</li> <li>・家庭・児童相談員による相談支援</li> <li>・地域包括支援センターによる相談支援</li> <li>・子育て応援フォーラムの開催</li> <li>・SOSの出し方講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントにてパープルリボン・オレンジリボンの啓発</li> <li>・部会でチラシの作成、配布</li> </ul>
	規則・罰則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待防止法</li> <li>・高齢者虐待防止法</li> </ul>	<p><b>対策部会の関わり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジ・パープルリボンの作成・配布 (オレンジ・パープルリボン普及啓発プログラム)</li> <li>・暴力虐待の事例発表とパネル展示 (暴力虐待の実態普及啓発プログラム)</li> </ul>	
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団指導、施設指導監査</li> <li>・児童相談所</li> <li>・女性相談所</li> <li>・警察による相談対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護研修の開催</li> <li>・十和田市要保護児童対策協議会</li> <li>・民生・児童委員による見守り</li> <li>・避難先の確保</li> </ul>	

# 課題に対するレベル別の対策

## ■課題に対するレベル別の対策事例

図表12 地域のイベントでの啓発活動の様子(地域レベル)



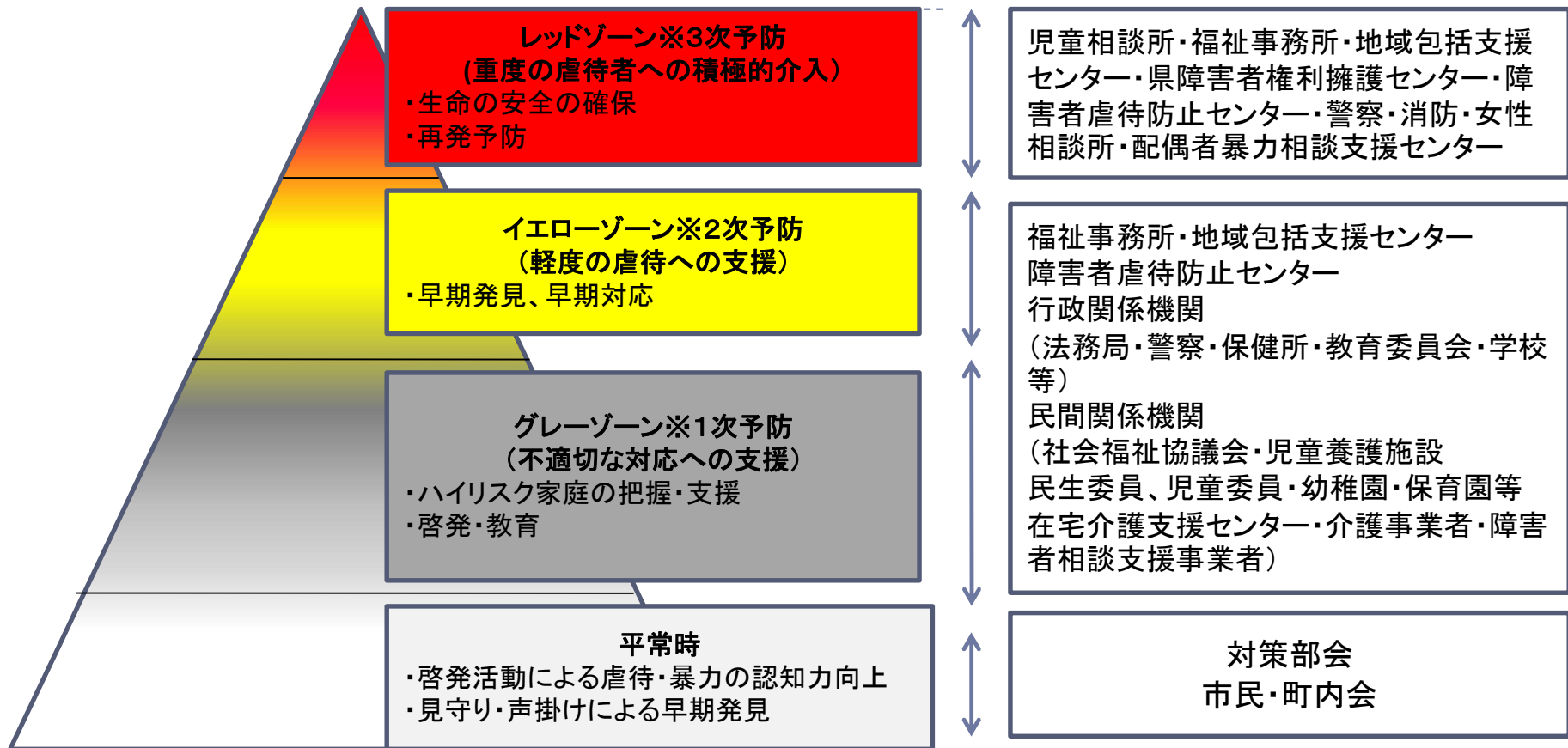
図表13 子育て応援フォーラムの様子(市レベル)





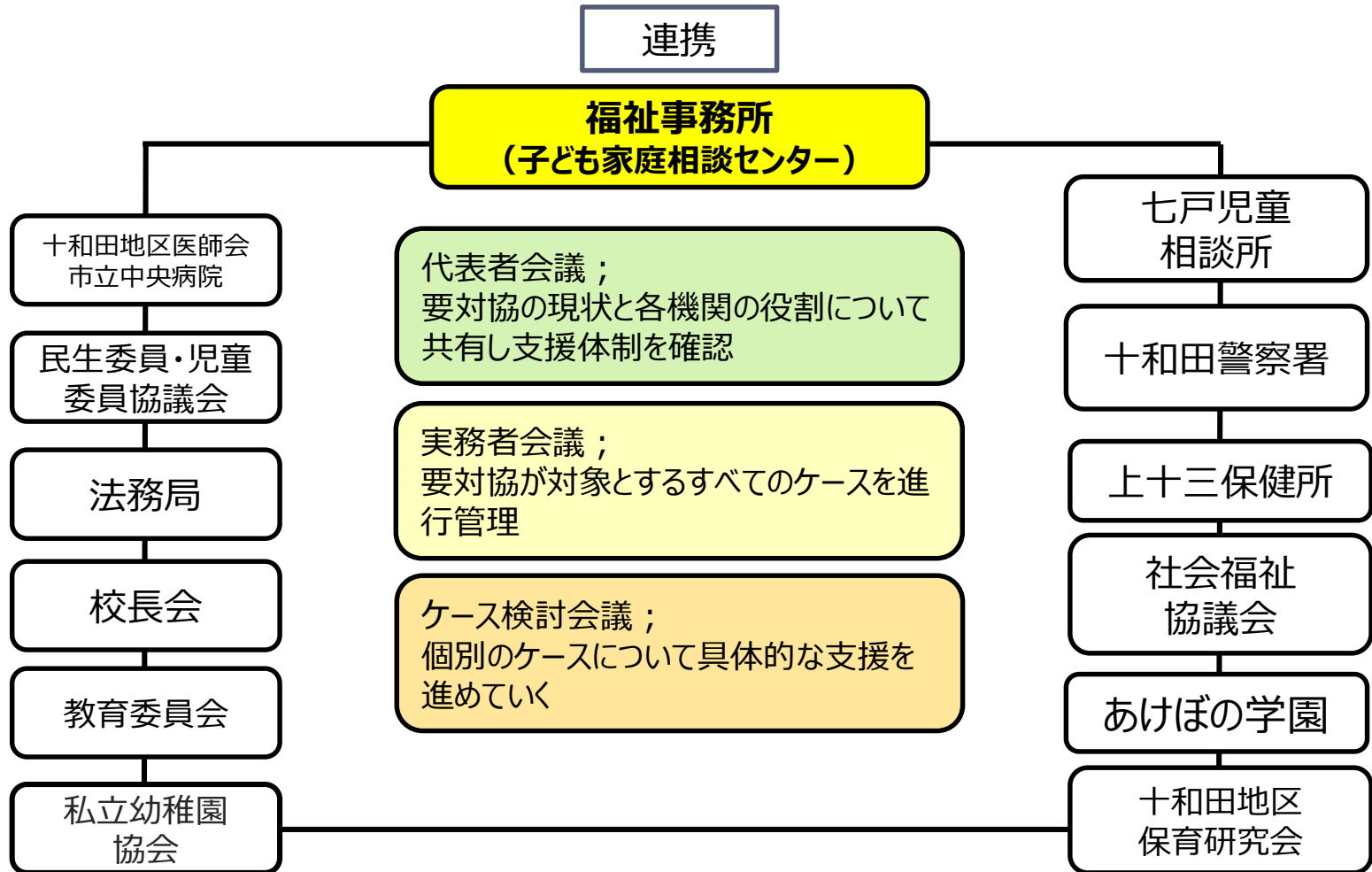
# 暴力・虐待予防の既存の取り組み①

## ■児童・障がい者・DV・高齢者に対する取組体制図



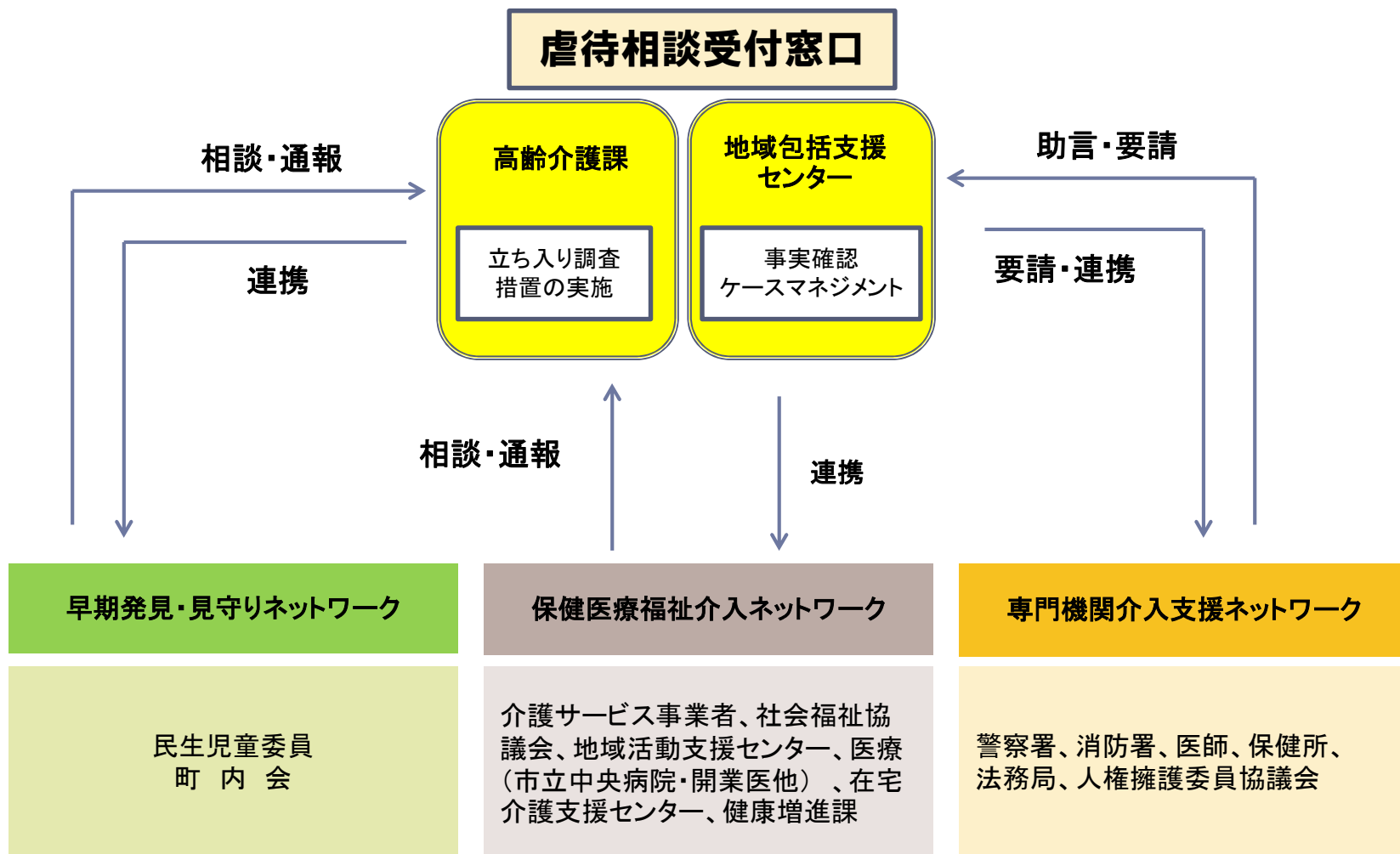
# 暴力・虐待予防の既存の取り組み②

## ■児童虐待防止のための連携協力体制 十和田市要保護児童対策協議会



# 暴力・虐待予防の既存の取り組み③

## ■高齢者虐待防止のための連携協力体制



# プログラムの運営状況

区分	進行状況				
	2019年 (認証②)	2020年	2021年	2022年	2023年
①オレンジリボン・パープルリボン普及啓発プログラム	・コミュニティセンター祭等でのリボン啓発（配布）				
②暴力虐待の実態普及啓発プログラム	・暴力虐待の実態 ・事例発表 ・事例パネル作成				

# オレンジリボン・パープルリボン 普及啓発プログラム

<b>課題</b>	子どもや高齢者、女性に対する虐待・暴力が発生している。	
<b>目標</b>	虐待・暴力に関する相談先や通告義務の周知を図る	
<b>内容等</b>	オレンジ・パープルリボン、チラシ配布を行い、普及啓発をすることで、市民が虐待・DVに対する理解を深める	
	【財源】	市民団体、十和田市
	【対象】	全市民
	【活動】	オレンジリボンの配布、パープルリボンの作成、配布、虐待防止チラシ作成
	【人材】	十和田警察署、十和田地区保育研究会、NPO法人スマイルラボ、十和田地区人権擁護委員会、市役所、教育委員会
<b>(短期) 認識や知識の 変化</b>	【指標】 オレンジ、パープルリボンの意味を知っている人の割合	【測定】 市民アンケート
<b>(中期) 態度や行動の 変化</b>	【指標】 虐待を受けたと思われる乳幼児や高齢者を発見した場合、相談または通報する人の割合	【測定】 市民アンケート
<b>(長期) 状態や状況の 変化</b>	【指標】 相談を利用した人の人数	【測定】 相談件数

# プログラムの活動内容①

## ■ オレンジ・パープルリボンのチラシ作成

部会員で協議し、イベント等で配布するチラシを作成。表面には市役所・警察の相談連絡先、裏面には虐待チェックシートを記載している。

図表14 チラシ配布の様子



図表15 啓発チラシ配布枚数

年度	配布枚数
2020年	245枚
2021年	1,292枚
2022年	2,100枚

# プログラムの活動内容②-1

## ■ オレンジ・パープルリボンの啓発

市内保育施設(30施設)に対し、オレンジ・パープルリボンの塗り絵を配布

図表16 配布した塗り絵(2022年(左)、2023年(右))



	2022年	2023年
配付枚数	2,000枚	2,000枚

# プログラムの活動内容②-2

## ■ オレンジ・パープルリボンの啓発

出来上がった塗り絵は、施設内で展示され、保護者の方々への啓発へと繋がられた。

図表17 むり絵の様子(左)と展示の様子(右)

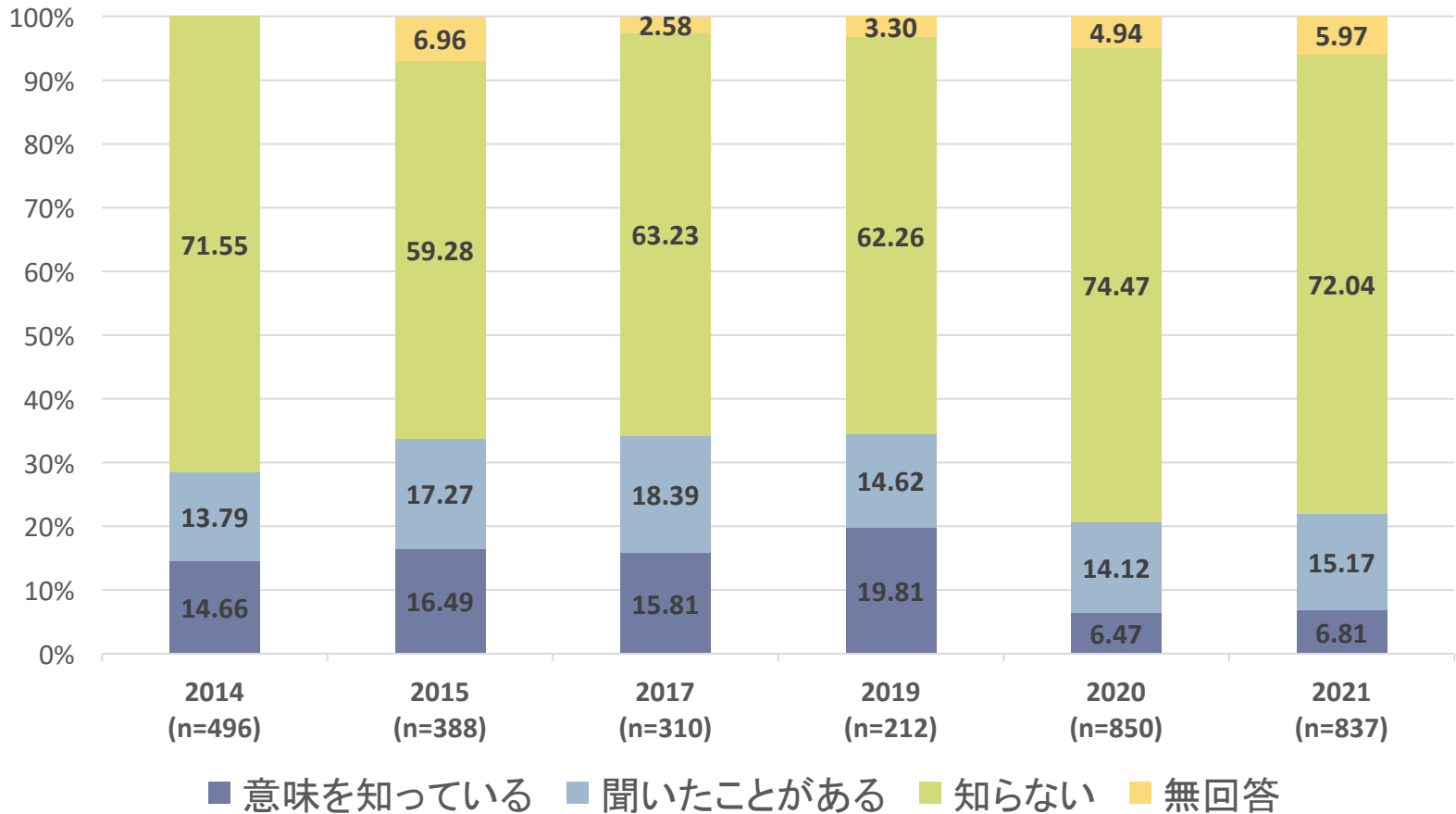




# プログラムの活動評価①

## ■ オレンジリボンを知っている人の割合（短期）

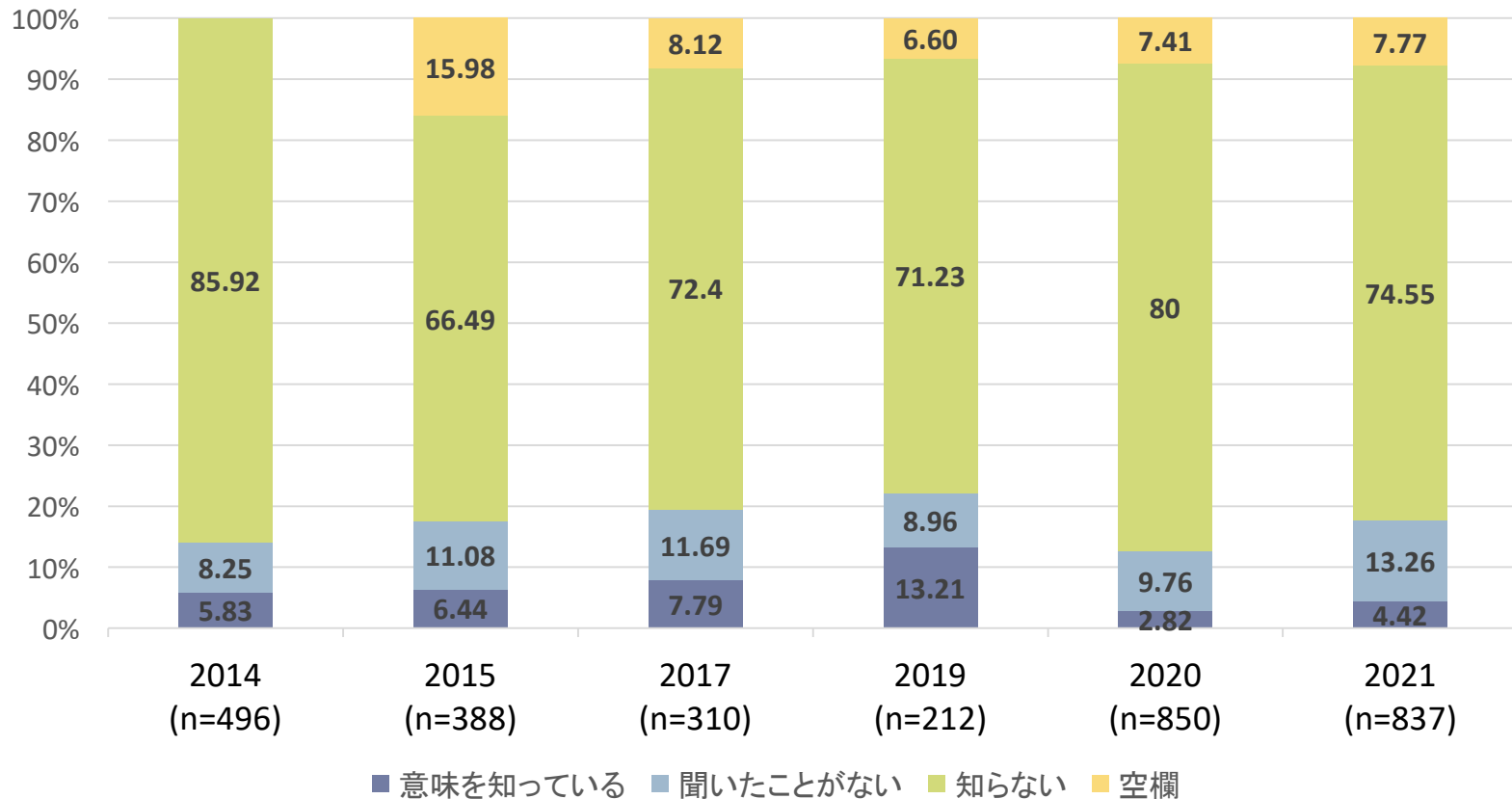
図表18 オレンジリボンを知っている人の割合



# プログラムの活動評価②

## ■ パープルリボンを知っている人の割合（短期）

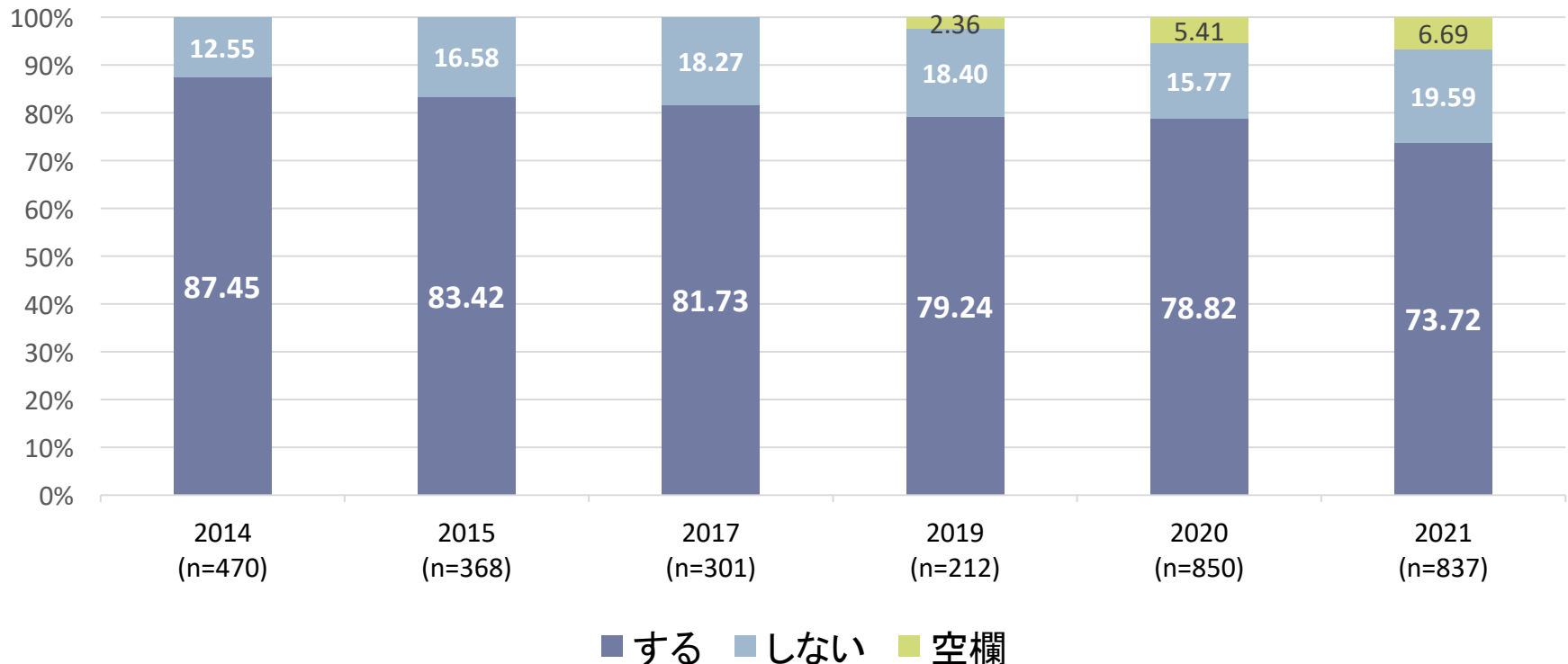
図表19 パープルリボンを知っている人の割合



# プログラムの活動評価③

## ■虐待を受けたと思われる乳幼児や高齢者を発見した場合、相談または通報する人の割合（中期）

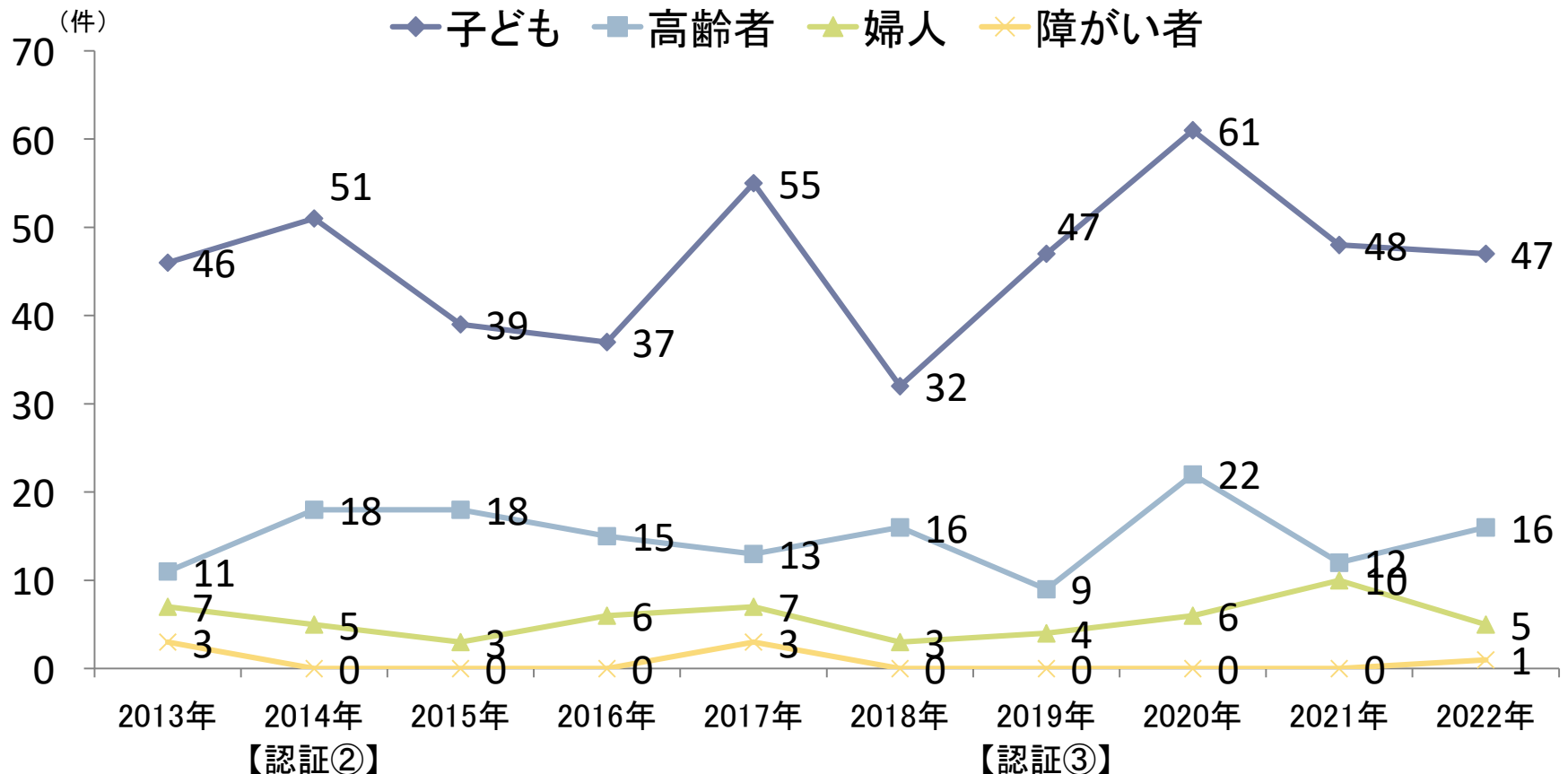
図表11 虐待を受けたと思われる乳幼児や高齢者を発見した場合、相談または通報する人の割合



# プログラムの活動評価④

## ■相談件数（長期）

図表20 虐待の通報件数



出典：子育て世代親子支援センター、高齢介護課、七戸児童相談所調べ（2013年～2022年）

# 暴力虐待の実態普及啓発プログラム

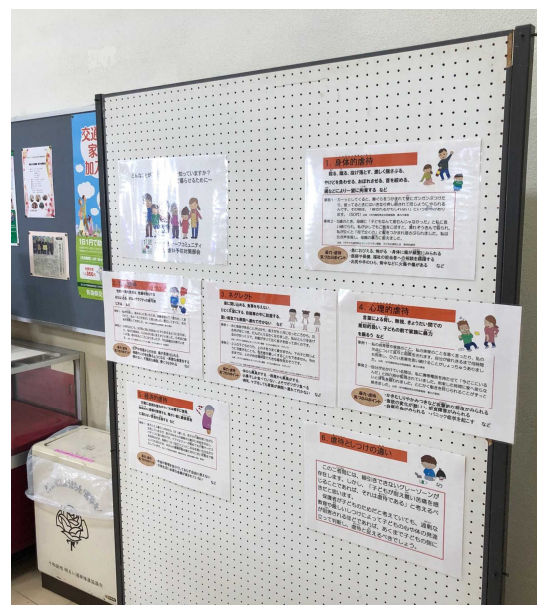
<b>課題</b>	虐待を受けたと思われる乳幼児や高齢者を発見した場合でも、相談・通報をしない人が多い。	
<b>目標</b>	暴力や虐待が疑われる場合、通報・相談してくれる人を増やす。	
<b>内容等</b>	さまざまな場所で部会員による事例発表やパネル展示を行うことで、市民のDVIに対する理解を深め、通報するよう意識作りをする。	
	<b>【財源】</b>	市民団体、十和田市
	<b>【対象】</b>	全市民
	<b>【活動】</b>	専門講座や暴力・虐待予防に関連するイベント等での事例発表や啓発活動、パネル展示による啓発活動
	<b>【人材】</b>	十和田警察署、十和田地区保育研究会、NPO法人スマイルラボ、市役所、教育委員会、十和田地区人権擁護委員
<b>(短期) 認識や知識の変化</b>	<b>【指標】</b> 虐待の通報は、虐待の疑いがあると思う場合でも受け付けられることを知っている人の割合	<b>【測定】</b> 市民アンケート
	<b>【指標】</b> 虐待の通報は、通報者が特定されないように配慮されていることを知っている人の割合	<b>【測定】</b> 市民アンケート
<b>(中期) 態度や行動の変化</b>	<b>【指標】</b> 虐待を受けたと思われる乳幼児や高齢者を発見した場合、相談または通報する人の割合	<b>【測定】</b> 市民アンケート
<b>(長期) 状態や状況の変化</b>	<b>【指標】</b> 虐待に関する通報件数	<b>【測定】</b> 高齢介護課、子育て世代親子支援センター、七戸児童相談所 調べ

# プログラムの活動内容

## ■ パネル展示

市民交流プラザやコミュニティセンターなど、市民の目に触れる場所での展示を行った。

図表21 展示の様子 →南コミュニティセンター  
↓市民交流プラザ



	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
事例発表への参加人数	0回	1回	0回	0回	0回
パネル展示日数	5日	10日	8日	0日	180日

# プログラムの活動評価①

## ■短期目標についての評価

図表22 アンケート結果

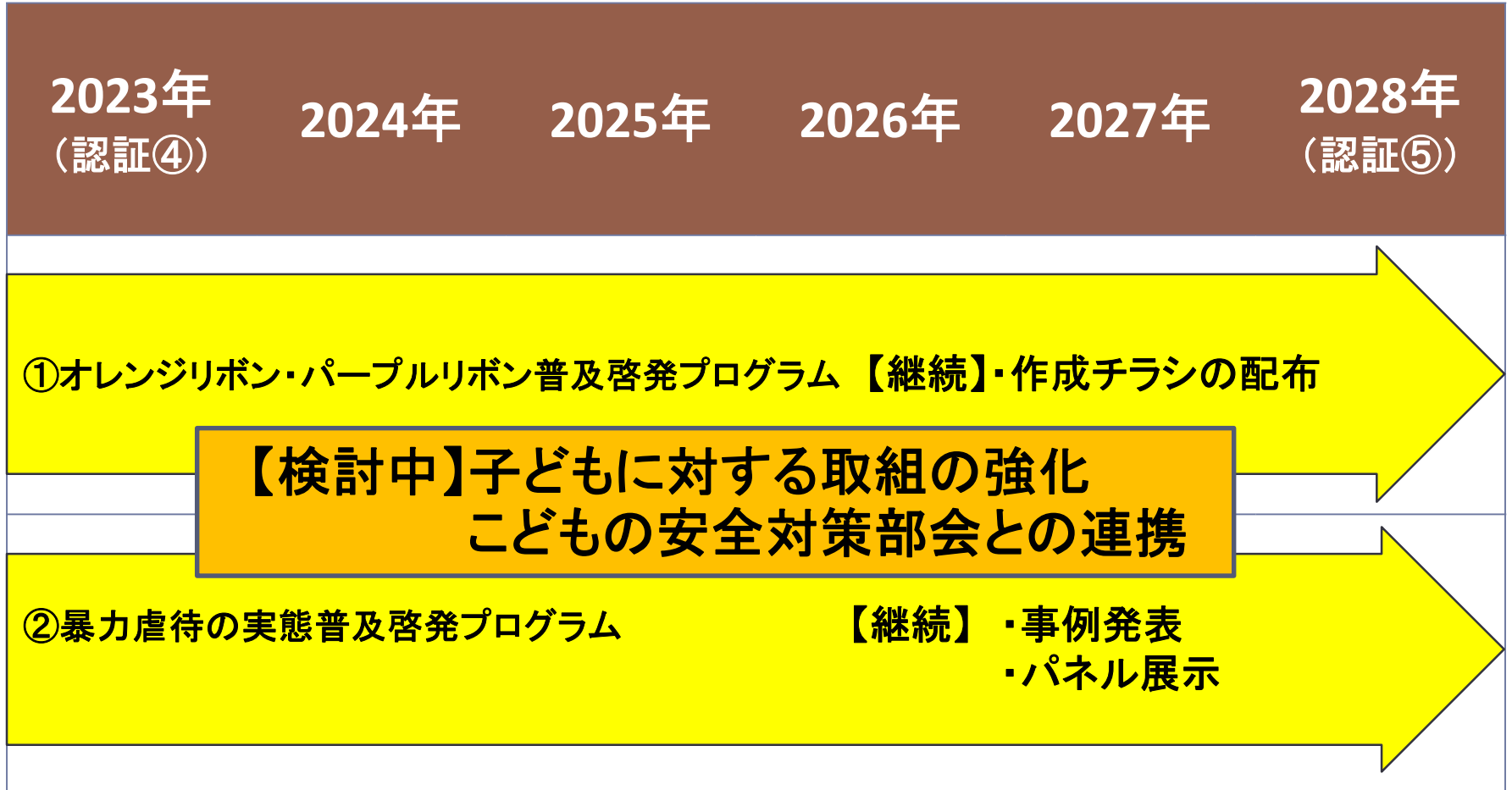
調査年	2015年 (n=388)	2017年 (n=310)	2019年 (n=212)	2021年 (n=837)
①虐待の通報は、虐待の疑いがあると思う場合でも受け付けられることを知っている割合	59.0%	66.5%	71.7%	58.5%
②虐待の通報は、通報者が特定されないように配慮されていることを知っている人の割合	42.0%	49.7%	50.5%	35.5%

# 現在の課題

- 被虐待者を発見した場合、相談・通報する人の割合が減少している。
- 通報した人にも配慮しているということを知らない人が多い。
- 子どもに対する虐待が減少しない。



# 今後の計画





# ご清聴ありがとうございました

## 今日も無事でいてほしい



十和田市セーフコミュニティ推進マーク  
「十」十和田市の安全な街並み、  
「和」美しい郷土・十和田湖と紅葉、  
「田」人々の協働・交流・絆を表現